江陽中学校だより

鶴寄 つるよせ

令和４年８月３１日（水）発行第５号
〒 031-0801 八戸市江陽1-1-33
TEL 43-1433　FAX　71-1306

学校スローガン　「時を守り 場を清め 礼を正す」

デジタル全盛な時代にあっても

校長　富樫　克輝

ＣＤ（コンパクトディスク）が発売されたのは今から30年以上も前。それ以前は黒く大きいレコード盤に針を下ろす、あるいは、カセットテープで音楽を聴きました。プチプチとかサーというノイズ（雑音）が無いクリアな音、聴きたい曲に瞬時に切り換えられる、持ち運びも手軽なＣＤというメディアによってアナログレコードは急速に姿を消していきました。途切れなく連続して記録するアナログ、瞬間ごとに区切って０か１に置き換えるデジタル。その過渡期に音楽家やミュージシャン、オーディオマニアの人たちは「ＣＤの音はアナログレコードに及ばない」と声をあげました。しかし、大多数の人々はそれに耳を貸しませんでした。

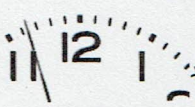
デジタルがアナログに及ばないところ

脳の働きを研究している小泉英明さんは「自然界に存在するあらゆる物の色や光、音は、複雑なスペクトル（波長）が重なり合ってできていて、デジタル方式では完全に記録や再現ができず、特徴的な部分だけを拾い集めて整形した『つくりもの』にすぎない。しかし、実物の情報は、深く微細なところまで無意識のうちに人間の脳に入って働きを活性化させる。子どもが、デジタルだけに接しているとデジタルデータに見合った分しか脳の『情報を感知する機能』が発達しない。バーチャル（画面の中の仮想空間）ではない現実の体験が非常に大切です」と訴えています。

途切れずに流れるから人生はアナログ

デジタルは、重要な部分の輪かくがはっきりする分、雑音やその他の成分が削ぎ落とされます。例えるなら、同一の文章でも美しい活字で印刷した紙や本に対して、書いては消しを繰り返して書き上げた手書きの原稿からは「作文に向かっていた時間と姿」が実物の重みをもって伝わってきます。スポーツならば、優勝カップやトロフィー、賞状の並ぶ光景の素晴らしさに対する、これまでの頑張りや苦労の道のりを伝えてくれる使い込まれ大切にされた用具やユニフォームのいとおしさ。それは優勝や勝利に届かなかった人も、誰もがかけがえのない流れる時間を生きた証です。

コスパの良さをすべてとは思わずに



コストパフォーマンス（製品や成果を得るための時間や労力や費用）という物事のとらえ方が広く世の中を覆っています。無駄を削ぎ落とす、時間や手間をかけずに効率を追求する。度が過ぎると近道や抜け道探しが幅を利かせます。得か損か、簡単か難しいか、○か×かという尺度ではくみ取られない、回り道にも思える試行錯誤や紆余曲折がもたらす深さや余韻。時計の針は秒と秒の間をなぞって回ります。デジタルは、この間をないものとして刻みます。

近年、再びアナログレコードの良さを見直そうという動きがおこってきています。懐かしさや物珍しさからだけではなく、実際に聴いて、聴き比べてみたら、ＣＤを上回る豊かな「音像」に感動するのだそうです。

9月の行事予定

日	曜	主な行事
1	木	修学旅行8/31～
2	金	企業訪問(2年生)
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	全校朝会
7	水	
8	木	
9	金	英語弁論大会
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	SC
14	水	
15	木	壮行式

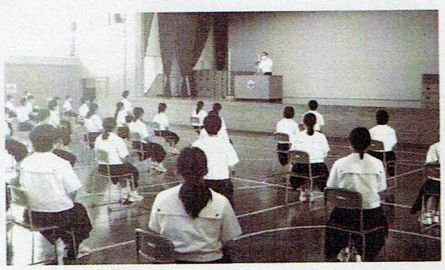
日	曜	主な行事
16	金	
17	土	市中体秋季大会
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	振替休業
21	水	委員会
22	木	振替休業
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	全校朝会　衣替え準備期間
28	水	集金日
29	木	
30	金	３次考査

考査週間

SC…スクールカウンセラー来校日

2学期が始まりました

３３日間にわたる夏休みが終わり、いよいよ２学期が始まりました。８月２４日の始業式には、日焼けして逞しくなった生徒のみなさんが元気に参加してくれました。２学期は修学旅行や新人戦、文化祭などの行事がある一方、３年生にとっては進路を決める大切な時期になります。２学期も学習、部活動、行事に全力で取組みましょう。



交通安全運動に参加しました

７月２５日（月）、３年生の女子生徒が、青森県夏の交通安全県民運動に合わせ、八戸地区交通安全協会江陽支部の皆さんと一緒に、ラピア前交差点で、街頭広報活動を行いました。参加した生徒は、さわやかな声でドライバーの皆さんに「安全運転」を呼びかけていました。

「江陽おとぎの広場」への出演

７月３０日（土）、江陽コミュニティーパークで、「江陽おとぎの広場」が開催されました。江陽中の８名の生徒が絵本の読み聞かせを行いました。集まった地域の皆さんからは「おもしろかった」「楽しかった」「すごく上手だった」という感想が聞かれました。この日に向けて練習してきた成果を発揮できて、よかったですね。